

## 交通安全宣言50周年記念 「しながわ交通安全フェア」の開催について

### 1. 目的

昭和42年に行った交通安全宣言から、今年で50周年を迎えることを記念し、多くの区民に交通安全宣言をPRするとともに、交通事故防止の啓発を推進する。

### 2. 開催日時

平成29年11月18日(土) 午前10時から正午まで

### 3. 会場

しながわ中央公園多目的広場 (西品川1丁目28番)

### 4. 内容

- ・式典
- ・ステアード・ストレイト方式の交通安全教室等
- ・その他
  - 警察車両の展示
    - 白バイ、パトカー等
  - 交通安全教育用車両の展示
    - シートベルトコンビンサー、横転体験車
  - 自転車シミュレータ体験による交通安全教室 など

### 5. 参加者

豊葉の杜学園の7年生、一般区民





# 交通安全宣言

# 50周年



品川区  
Shinagawa City

## 交通安全宣言

わが国の経済は、国際的地位の向上と

開放体制への移行を背景に、

今後さらに一層の進展が予想される。

しかしながら、その反面、交通事故はますます悪化し、

悲惨な交通事故はあとをたたず

「交通戦争」といわれる事態を招いている。

品川区は、都心と東海地方を結ぶ主要地点に位置し、

その交通量は激増の一途をたどるばかりでなく、

区内の交通事故は逐年重大化する傾向にあり

区民の生活をおびやかしていることは

まことに憂慮にたえない。

よって品川区は本日を期し、人命尊重の基本理念に基づき、

区の総力を結集し、交通安全区たることを宣言する。

昭和四十二年七月二日

品川区



Shinagawa City  
品川区

平成29年7月2日、品川区は交通安全宣言から50周年を迎えました。

## 「交通戦争」と呼ばれた時代

昭和 30 年代以降、全国的な自動車交通の急成長に伴い、区内の自動車保有率も飛躍的に伸びていきました。その結果、交通事故が急増し、昭和 34 年には全国の年間交通事故死者数が初めて 1 万人を超え「交通戦争」と呼ばれるようになりました。

区内でも、昭和 31 年に 575 件であった交通事故件数は、昭和 35 年に 8,758 件と 15 倍にもなり、深刻な状態となっていました。



大崎広小路の交通混雑状況（昭和 31 年 2 月）



交通安全宣言を記念して設置された交通安全宣言塔  
（左：戸越三丁目 右：北品川三丁目）

## 交通安全宣言

交通事故件数は昭和 40 年代に入り減少傾向になってきたものの、重傷者数は昭和 40 年の 200 人を底に昭和 42 年には 253 人、軽傷者数も 1,738 人から 2,395 人と増加していました。

そのため、区は昭和 42 年 7 月 2 日の交通安全区民大会で「区の総力を結集し、交通事故の根絶を期するため、ここに交通安全区たることを宣言する」と交通安全宣言を行いました。

## 50 周年を迎えて

平成 29 年 7 月 2 日、区は交通安全宣言から 50 周年を迎えました。交通事故発生件数および死傷者数は年々減少傾向にあります。依然として多くの方が交通事故で死傷されている状況に変わりはありません。

区は今後もさらなる交通安全対策を実施し、区民が安心して暮らせる、安全・円滑かつ快適な交通社会の実現を目指していきます。



## 「しながわ交通安全フェア」開催

交通安全宣言 50 周年を記念して、「しながわ交通安全フェア」を開催します。

当日は記念式典、交通安全教室のほか、白バイや警察の特殊な車両展示も行いますので、皆様のお越しをお待ちしております。

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）

午前 10 時から正午まで

場所：しながわ中央公園多目的広場（西品川 1 丁目 28 番）

内容：記念式典、スタントマンの交通事故再現による交通安全教室、警察車両展示ほか

## 品川区交通事故発生状況の推移

